

廃棄物資源循環学会「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」

現場派遣一陣メモ（3月30日）

文責：浅利

1. 活動場所：仙台市内・石巻市内・名取市内
2. 活動内容：ヘドロ問題が大きい石巻市の確認等
3. 現地の天候：晴れ時々ヒョウ（再び寒さが戻る）
4. ポケット線量計着用記録：1.29 μ Sv（31日 9:00～22:45）
5. 感想や課題認識など
 - ・ ヘドロ問題が大きいということ、他都市も見てマニュアル化を進めるべきとのことを考慮し、石巻市へ向かった。既に2,283人の死亡が確認され、約2,650人が行方不明、約2万2,750人が避難中とのこと。宮城県でも最も被害が大きい自治体の一つだろう。仙台市と異なり、沿岸部の工場地帯や漁港、市街地を含め、津波が襲い、ヘドロがかぶっている。特に、中小規模の水産加工業が町の多くを占めているエリアは、魚・生ごみ臭のヘドロが多く、生活にかなり支障があるという実感である。まだ、人命捜査フェーズである。日和山公園という高台から見下ろす町の無残な姿に、涙する人もいた。
 - ・ 廃棄物処理の観点からは、やはり、津波倒壊ごみについては、現場や仮集積所（一次集積所としておく）での分別は困難ではないか、大きなタンクや電柱などは除去し、後は二次集積所に運びこんでから、分別するというのが現実的ではないかと話し合った。
 - ・ 夕方に仙台空港に向かった。おそらく、命を落とした京都大学の学生が走ったのと同じ道である。復旧に向けた作業が始まっているが、相当時間を要するのではないかと思う。

6. 主な活動内容及び記録写真

午前中 スムーズな復興に向けた廃棄物分別・処理戦略の必要性について、整理を行う。

10:55 吉岡先生の車にて、石巻市へ向かう。

12:30～16:00 石巻市にて、現地確認及びサンプリング 13:15 日和山公園

17:00 仙台空港の現地確認

18:00 仙台市環境局前ホテルにて、民間関係者と意見交換

19:30 まとめ作業

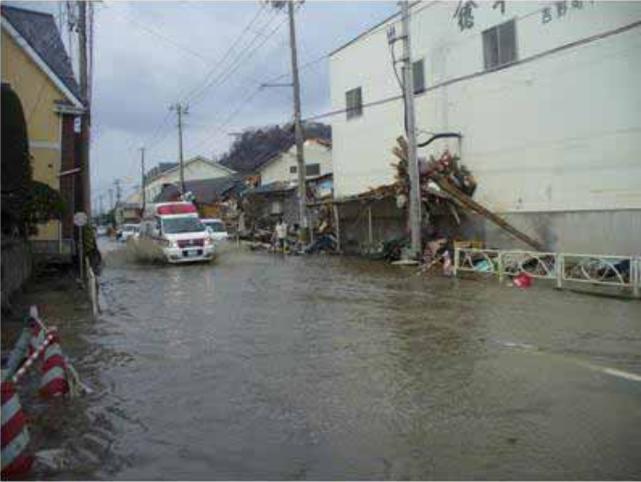
7. 今後の活動予定（案）

3月27日		現地確認（沿岸部続き、多賀城市）
3月28日	吉岡先生と合流	方針の議論・検討、環境省訪問
3月29日		仙台市向け提案作業、宮城県訪問
3月30日		家庭ごみ系の現地確認（今泉、ニッテリア）
3月31日		石巻、仙台空港現地確認
4月1日		マニュアル化作業
4月2日	平山移動日・京都市第3陣見送	JT社員様宅訪問（予定）
4月3日		JT社員様宅・石巻訪問（予定）
4月4日	NIES 滝上さん合流	現地確認、京都市長面会

4月5日		北の方の県視察
4月9日	浅利移動日	

写真

石巻の市街地



まだ水が抜けない（ハイブリッドの吉岡カーは迂回）



日和山から見下ろす町の姿



製紙工場からの古紙やパルプ等が町を覆っている



既に車体確認の紙が貼られている（行政？）



このように乾いているところもある。
底にサラサラの砂、次に黒い粘土質、表面はネズミ色



仙台空港は、泥はよけられ始めているが・・・